

にぎやかで居心地の良いまちをつくる 地域遺産の活かし方

—中央倉庫群再活用に向けて—



開拓当時から基幹作物として生産された馬鈴薯。その集積やでんぷん加工など、ニセコの農業の歴史を今に伝える**産業遺産・ニセコ町中央倉庫群**。その魅力と活用方法を、道内の歴史的建造物活用事例から学びます。また、「登録有形文化財」への登録の可能性を探るとともに、この大切な歴史的な地域遺産の価値を醸成し、未来の子ども達へ継承していく方法を考えます。

と き 平成26年 **10月9日** (木)

午後 **6時30分** から

ところ **ニセコ町民センター 研修室1**

参加無料!

申込不要です

気軽にお越し下さい



角 幸博 (かど ゆきひろ) さん

北海道大学名誉教授。1947年生まれ。

北大工学部建築学科卒業。NPO法人 歴史的な地域資産研究機構（通称：れきけん）代表理事。札幌市文化財保護審議会会長、北海道文化財保護協会副会長、日本民俗建築学会理事ほか、活動は多岐に渡る。

共著として『札幌の建築探訪』、『北の建築散歩』など多数。

主 催 二セコ町 後志総合振興局
お 問 合 せ 二セコ町役場 都市計画係 担当：山崎・黒瀧
連 絡 先 電話：0136-44-2121 E-mail：toshikei@town.niseko.lg.jp